

◇ 昭和56年 4月20日発行

◇ 福生市議会事務局

◇ ☎ 0425-51-1511 (代)



四月八日は花まつり

市内の寺院で子どもたちが小さな手をあわせ、
可愛いお祈りをする姿がみられました

(清岩院にて)

深夜におよんだ予算審査

100億円を超える

—昭和56年度 一般会計当初予算—

昭和五十六年度一般会計予算が付託された予算審査特別委員会（末次性男委員長、東田正治副委員長）が十六日に招集されました。

十六日と十七日に活発な審査が行われま

したが、十七日には福生市議会としては初

めて深夜におよぶ予算審査となり、十八日

午前零時十八分起立による採決の結果、賛

成多数で可決されました。

低成長時代となり、かつ国や都の緊縮型の予算編成の影響で五十六年度の市財政は一層の厳しさが予想されます。自主財源に乏しい福生市では、限られた貴重な財源を計画的、かつ効率的に運用して活力ある行政運営を図っていかねければならない状況です。

五十六年度一般会計予算は百一億八千万円になりましたが、前年度に比べ五・七割の低い伸び率にとどまりました。

歳出予算の中で最も大きなものは教育費で全体の約四分の一を占めています。そこでは、新たな施策としては、一般質問でも取り上げられたことのある小中学校の修学旅行費の助成金として、小学生一人二千円、中学生一人五千円を補助することになりました。また第一小学校の特殊教室が新しくなることも盛り込まれています。

土木費と民生費ともに全体の五分の一を占める大きなものです。土木費では福生駅西口周辺地区再開発の調査委託料が計上されています。十分な調査をし、具体的な実施計画案を作り関係者の理解の上に立って事業決定の賛否を問うことが重要であるとの考えで調査委託料が組まれています。

民生費では、国際障害者年でもあり、障害者（児）の生活実習訓練室の設置があります。また極めて厳しい財政事情でありながらも、社会福祉の給付施策は前年度並みの水準を維持しています。

その他に新しいものとしては声の便利帳があります。市の施設などを紹介した「ふっさ生活ノート」の内容をそのままテープに吹き込んだもので、このようなものは、多摩地区二十六市でも初めての試みです。

審議日程

3 月

- 11日 本会議
- 12日 本会議
- 13日 本会議
- 16日 一般会計予算審査特別委員会
- 18日 厚生委員会
- 19日 建設委員会
- 20日 総務委員会
- 23日 横田基地対策特別委員会
- 24日 議会運営委員会
- 26日 本会議

第一回定例会

昭和五十六年度予算が審議される第一回定例会が、三月十一日に招集されました。五十六年度の一般会計予算は、初めて百億円を超えた予算でもあり、審議が注目されました。

一日目・会議冒頭市長が五十六年度の市政運営の考え方などについて、三項目にわたる施政方針演説を行いました。続いて申し出のあった九人の議員が、議案審議に先だち一般質問を行いました。

二日目・前日に引き続き、福祉問題や基地問題などについて一般質問が行われました。

三日目・初めて百億円を超えた五十六年度一般会計予算や市営住宅等管理基金条例などが市長より提出され、関係の委員会に付託されました。また、議員提案による電気災害防止に関する意見書が全会一致で決まりました。

四日目・深夜におよんだ五十六年度予算の審査結果などの休會中の審査の結果が委員長から報告されました。五十六年度予算については討論の末、賛成多数で可決され、他の二十三議案も原案どおり可決されました。

また登録民間日雇労働者の雇用促進に関する陳情書と失業対策事業の改善と公的就労事業に関する陳情書は賛成少数で不採択となりました。大型店等の新規出店と営業活動の規制強化に関する請願書は採択と決まり、意見書を可決しました。



特別委員会のやりとりから

市税収入は一二%増

使用料見直しも示唆

＜歳入＞

問 歳入は全体的に安全度の高い見込みだと思いが、その点の見解を聞きたい。

答 市税は前年度に比較し、かなり思いきって組んであるが、その他は、かなり安全性をもったものもある。

また使用料等の見直しも考えている。

問 地方交付税の特別分は五十五年度では約二億九千万円が交付されることが見込まれるが五十六年度では七千万円が計上されているだけである。過去の実績を勘案して積極的に計上すべきではないか。

答 最終的には五十五年度の交付額程度は見込めると思うが、特別分は政治判断で要求しないと確保できないものである。

問 市有地売却収入において二百八十四・九五平方メートルを八万円で売却するというが、昨年は六万五千円であった。八万円の単価は何によって評価額を定めているのか。

答 通常の財産の評価に基づ

く、いわゆる不動産鑑定をもとにした取引の事例あるいは地価公示価格に当該地の条件等を考慮して定めている。

問 軽自動車税は五十五年度当初と比較すると全期分のうち軽自動車は五百九十三台減っているがなぜか。

答 外人分は、今まで福生市だけに横田基地のものが入っていたが、昨年から武蔵村山市が出張徴収したこともあり減っている。

問 市民一人当たりの市民税の負担額が上がってきているが

土木関係支出は鈍化

民生・衛生費は一〇%増

＜歳出＞

問 立川横田基地対策協議会の負担金が計上されているが、この協議会は実質的には解散しているのではないか。

答 立川基地も返還され、協議会の目的が若干変わってきたので、発展的解消ということだ。検討したが、加入市町のうち四

課税対象所得との関係を開きたい。

答 市税の中で主要な位置を占めている市民税は、二十六市平均では、課税対象所得が一〇%伸びると税額が一八・八%伸びている。福生市では、給与収入金額が五十四年、五十五年で、六・五%伸びており、給与所得割額は一四・九%の伸びを示している。

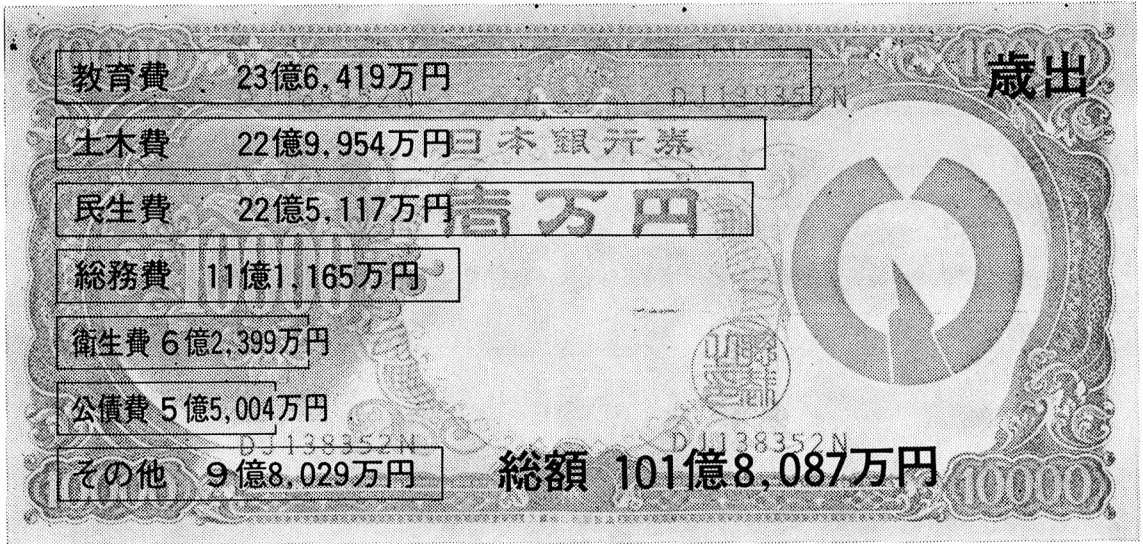
問 衛生手数が減となったのはゴミ減量運動が浸透した結果なのか。

答 昨年三月に料金改正を行い、また大型店等チェーン店の不明な持ち込み処理があったが、チェックを厳しくした結果前年度より二〇%少なくなつた。また一般のゴミも三五%ぐらい減った。ゴミ減量に対する意識が上がったともいえる。

市が存続の意見であり、また正式に解散していない。そのため各市町とも負担金を計上している。

問 保育料改正専門委員とはどういうものか。また委員に父母の代表は入っているのか。

答 保育料は、過去何年も改



正していないので、国の徴収基準等もあるので、検討する必要があります。

問 民間保育所給食費は、一人当たり四百四十円のまま二、三年据置かれているが、物価上昇の折、これで十分なのか。

答 市からの補助は四百四十円であるが、国と都からも補助されている。保育園でもカロリー等を考え十分な給食を行っているということなので、上げる考えはない。

問 リサイクルセンターに設置する粗大ゴミ中間処理施設について聞きたい。

答 市では、収集した家具や植木等の粗大ゴミを処理するため、さつき園の周辺の方の了解

＝国際障害者年＝

障害者の生活実習室と

声の便利帳を計画

＜歳 出＞

問 目の不自由な人のための声の便利帳の作成委託料が計上されているが、どのような内容か。

答 目の不自由な方（十人分）にテープを使い、「ふっさ生活ノート」の内容を吹き込むもので、多摩地区二十六市でも初めての試みである。

問 仮称福生心身障害者（児

を得て、同園で焼いている。公害防止上、好ましくないのですが、リサイクルセンターに大型の焼却炉を設置して、粗大ゴミを処理し、最終処分場を長く使用しようとするものである。

問 公害対策としての各種の分析委託料では、どのようなものを調べるのか。

答 河川水質分析は、下の川多摩川それぞれ九箇所毎月実施する。工場排水の分析も二十箇所を予定している。また、粉じん分析、イオウ濃度分析も実施する予定である。さらに臭気の出る恐れのある工場についても実施したい。



生活実習室はどのような内容で運営するのか。

答 在宅の重度障害者の方が自立し、社会に慣れるように訓練しようとするもので、当面は生活に慣れてもらうということで、作業とまではいかないと思う。将来は箱詰めとか箱の折りたたみのような作業も考えている。

議 会 日 誌

- | | |
|-----|------------------------------|
| 19日 | 西多摩農業共済事務組合議会(行政視察(20日 |
| 18日 | 全国基地協議会(20日 |
| 17日 | 東京都市議会議長会、西多摩農業共済事務組合議会 |
| 12日 | 三多摩上下水第二委員会、横田基地対策特別委員会(20日) |
| 7日 | 青森県三沢市議会視察来市 |
| 6日 | 全国基地協議会、市議会議員共済会 |
| 5日 | 福生伝染病院組合議会(行政視察(6日まで) |
| 28日 | 西多摩衛生組合議会 |
| 27日 | 第一回臨時会、全員協議会 |
| 22日 | 総務委員会協議会 |
| 21日 | 議会運営委員会、市議会(20日) |
| 16日 | 西多摩衛生組合議会(行政視察) |
| 12日 | 東京都市収益事業組合議会 |
| 5日 | 御用始め |

緑を求め

二つの緑地を確保

問 公園整備や緑地整備の工事や買収について聞きたい。

答 仮称武蔵野地区公園は、仮称第八小学校用地と東福生公園との関係で、国道寄り約四千方メートルを振り替えるために五十五年度に引き続き買収する。

仮称玉川上水緑地は宮本橋を

渡った所から上流の都市下水路のはけ口の所で、仮称加美平緑地は都市下水路のはけ口の手前の玉川上水沿いの山林である。

問 仮称第八小学校の建設問題は、ある程度明確な線を出す時期にきているのではないか。

答 都では五十四年度をピークとして六十年程度までに小中生は約二十万人減るとの公式見解を発表している。小学校建設は重要な問題であるので、児童数等の推計をして五十六年中に

は結論を出したい。

問 市道整備は十二本予定されているが、舗装率はどのくらいになるのか。

答 五十五年度末で九五・四％台であり、十二本分ができる

と〇・二〜三％くらい上がる。

問 商工会補助金の中の西口再開発負担金百万円について聞きたい。

答 西口再開発協議会の組合設立の説明会や勉強会等に対するもので、組織づくりに対しての補助である。

問 仮称第八小学校の建設基金は、今年度で約一億八百万円を一般財源で積立てるが、教育委員会の方針が建設するとの方向で出たのか。

答 建設の決定は出ていない。用地は土地開発公社が取得しているのので、一般会計で買っても大きな額にならない。教育委員会の児童数等の調査結果を

まわって措置したい。場合によっては半分だけでも買っても大きな額と利子がかさんでくる。

とうろん

討論

基地にたより過ぎる

予算編成の手法

<反対>

百億円を超す一般会計予算の中で、基地関係の交付金や補助金は二十億円を超えている。基地の存在は迷惑だが仕方がないといった基地を是認する形で予算編成の思想、手法等がここにも反映されている。

支出面においても、受益者負担を増大する傾向が予想されているほか、商工業者の保護育成が重視されるあまり、市民の圧倒的多数の労働者、勤労市民に対する配慮が非常に薄い予算といえる。市民の立場にたった温かみのある施策を強く要望する

将来を考えた

基金の積み立て

<賛成>

財政基盤の弱い当市は文字通り典型的な三割自治の地方自治体である。

歳入では若干安全度をみた消極的な面もうかがえる。

歳出では福祉事業を主とする民生費、市民の住環境整備を主とする土木費、あるいは次代を担う児童生徒の教育関係費などで全体の約六八％が使われている。また苦しい財源の中においても小学校の建設基金や都市整備基金の積立てがあり、将来に備えていることは大変よいことである。

各分野で市民の負担

増大の可能性ひめる

<反対>

歳入面において、特別交付税にみられるように、例年指摘されながら多額の財源留保につながる措置がとられていることは非常に問題がある。

また歳出においても、一定の住民要求を反映した新しい施策が予算計上されているが、大筋において前年度並みである。民生費に特徴的にみられるように物価上昇分さえも上積みされず据置きになっている施策がたくさんある。また、保育料改正等いろいろな分野で市民に負担増を強いる可能性が大である。

努力がうかがえる

自主財源の確保

<賛成>

歳入において市税が対前年度比で十二％の伸びを示し、自主財源の確保への努力がうかがえる。

歳出では生活環境の保全としての仮称武蔵野地区公園や仮称玉川上水緑地、仮称加美緑地等の建設工事が予定されている。その他、災害に備え耐震性貯水池築造や備蓄庫設置の計画もある。さらに盲人用の声の便利帳や小中学校の修学旅行費の助成も盛り込まれ、時宜を得た措置である。

3月

20日	まで)
20日	三多摩上下水第一委員会
24日	三多摩上下水第三委員会
27日	厚生委員会
3日	青梅・羽村・福生地区都市下水路組合議会、東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議会
4日	議会運営委員会、狭山火葬場組合議会、西多摩衛生組合議会
5日	福生伝染病院組合議会
6日	東京都市収益事業組合議会
11日	第一回定例会(第一日目)、全員協議会
12日	第一回定例会(第二日目)
13日	第一回定例会(第三日目)
16日	昭和五十六年度福生市一般会計予算審査特別委員会(18日まで)
18日	厚生委員会
19日	建設委員会
20日	総務委員会
23日	横田基地対策特別委員会
24日	議会運営委員会
26日	第一回定例会(第四日目)、全員協議会



一般質問

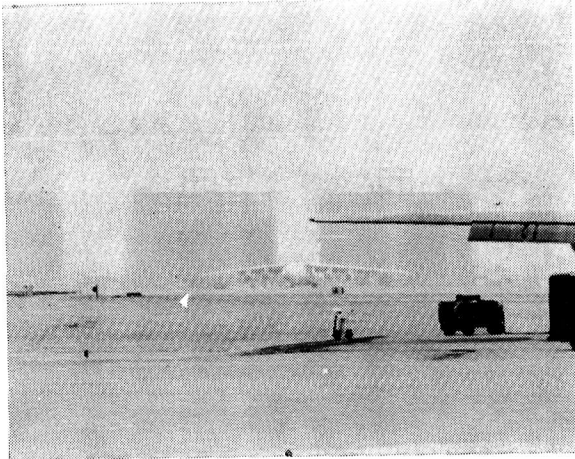
第1回定例会では
9人の議員が一般
質問を行いました

二十五箇所の測定結果

目立った電波障害はない

質問 昨年九月二十二日、基地内に高層住宅七十戸が建設さ

れると説明があり、電波障害については事前調査、障害除去の実施を東京防衛施設局へ要望するといっていた



電波障害が心配される基地内の高層住宅

が、調査は実施されたかどうか内容等について聞きたい。
市民部長 電波障害に対する調査はNHK事業技術部にお願いし、昨年十月二十一日に国道一六号線、八高線周辺等計二十五箇所で測定し、実施結果から目立った障害は出なかった。

また、十二月十四日に東電に高圧送電線についての事前調査をお願いしたが、既設建物からの反射電波による障害が多少あるという結果であった。高層住宅については建ってからでないかと判断しにくい点もあり、今後防衛施設局とも協議していきたい。

財政確立化のため

受益者負担増も検討中

質問 財政の確立、健全化については長期的見通しが必要であると思われるが、次の三点について聞きたい。

①補助金、交付金関係について、昭和五十二年七月から一年にわたり七人の専門委員が慎重に審議を重ね答申したもののうち、廃止あるいは減額すべきと指摘されたものはどのように処理されたか。また、答申後新たに設置されたものの行政効果は

どうか。

②下水道事業への一般会計からの繰出金は五十五年度五億五千二百万円、四十九年度以降五十五年度まで十七億一千万円になる。さらにこれからの繰入金計画では六十五年度までに百十億円にもなると思われる。独立採算性を主とした下水道事業について、今までの企業努力、今後の取り組み方等について伺いたい。また、基地の使用量が大幅減少してきたと聞くが実情はどうなのか説明願いたい。

③財政確立のための長期見通しについては、税金以外では受益者が負担する使用料、手数料がある。これらに対する増額や

第1回 定例会を 傍聴された方々

- ・小 林 栄 五 清 水 義 之 川 島 静 雄
- ・村 木 中 野 弘 一 木 下 利 昭
- ・山 崎 良 之 助 武 島 安 夫
- ・坂 本 徳 子 助 助 池 妙 子
- ・関 谷 得 枝 長 尾 弘 子 (敬称略)

道路占用料についての考え方、負担公平の原則から適時改定すべきと思うがどうか。

市長 ①補助金等調査専門委員から答申された廃止及び減額の方向で検討すべき項目については、五十四年度からすべて廃止、減額をしている。答申後の新規補助金等については、答申を十分尊重し認定しているが、行政効果を十分みきわめて対応したいと考えている。

②③市の重点事業でもある下水道事業は、事業費が膨大であり、できるだけ企業努力をしよう料の改定もいざはしたいと考えている。

なお、財政確立の方策として今後国・都に対する補助金の確保は積極的に進め、施設を利

用する者の応分の負担、道路占用料等については現在財政問題検討委員会を組織し使用料等の見直しを検討している。

建設部長 ③東京都でも汚水により検討している。立川、昭島市等近隣市町で連絡協議会を組織しており、くみ取り料及び使用料の問題については検討していくことになっている。なお、

変化する行政需要

職員の発想も柔軟に

質問 助役・収入役・教育長の人事も終わり、五十六年度を迎えようとしている。新体制の

基地の使用量については当初非常に高い数値であったが、現実には相当少なくなっている。原因についてはメーター自体の故障もあるとの考えから折衝し、今までの平均値をとり、納入してもらっている。



理事者に、福生市を将来どのような町につくりあげるのか基本的な考え方を聞きたい。

行政の課題は、かつての開発や建設にかわって、環境、福祉さらにコミュニティを中心とした町づくりへと大きく変わりつつある。時代にふさわしい仕事に対する概念づくりが必要と思われるがどうか。条例・規則についても見直しをする考えはあるのか。

また、財源なくして満足はいく市政運営はありえない。国庫支出金について、横田基地所在市という立場から考え方を聞かせてもらいたい。

なお、市民サービスとの観点

から庁舎の増築等についても考えを聞きたい。

市長 将来の町づくりについては、玉川上水や緑地等自然環境を十分生かしながら都市基盤の整備をし、魅力ある商業都市としての町づくりを推進していきたい。

国庫支出金については、横田基地の存在を強調し、当市が受けるさまざまな弊害の代償を国が負うべきものと考え、市民生活向上のため財政措置を講ずるよう訴えていきたい。

なお、庁舎の執務環境の整備については、五十六年度中に冷暖房の改修をし、旧昭和飛行機家族跡地を関係者の了解をいただき使用権の確保をしていきたい。

助役 市民サービスの上につ職員の仕事に対する正しい概念づくりや発想の転換は常時必

五十八年度までに

五万冊の購入計画

質問 昨年四月にオープンした中央図書館の一年間の利用状況、図書の紛失、棄損などに対する事後処理、今後の図書整備計画等について聞きたい。

教育次長 図書館の利用状況

要と考え、毎年一定の計画を練って自治大学及び職員研修所への派遣、市独自の研修等を行っている。それ以上に大切なことは形に表わすことのできない心のふれあいである。要するに信頼性ももった人間関係がうまくいけば職場は明るくなり、仕事の能率も向上し、ひいては市民サービスにつながると思うので極力努力していきたい。

条例・規則の見直しについては、確かに現在の社会情勢あるいは行政需要にあわない面もあり、毎年条例の改正、新設、廃止を行っている。市民にわかりやすい条例については例規審議会でも意見が出されているが、一定の法律用語、条例用語といったやむをえぬ事情や制約もある。市民に公平で親切的な条例の制定に極力努力していきたい。

については二月末までで、中央図書館十八万二千六百六十八人で、わかぎり・わかたけ分館を合わせた二十四万五千六百九十二人である。また、図書の貸出し数は中央二十万六千三百八十四冊、わかぎり五万二千五百冊、わかたけ四万三千九十四冊となっている。

なお、紛失棄損の点については、図書館運営規則により、現



窓口業務は市民サービスの第一線

物あるいは購入時点の価格で弁償してもらっている。今後の整備計画については、五十七、五十八年度にそれぞれ中央二万

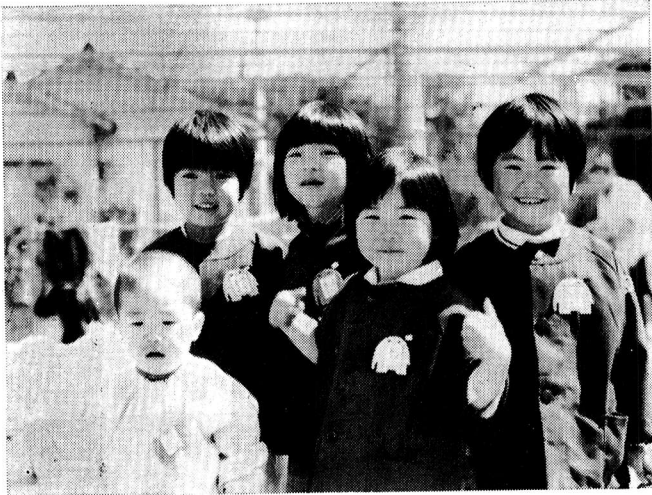
都立保育園、市への移管

財政的に受け入れは困難

質問 五十四年度をみると市内の小学校入学児の約九八％が、保育園あるいは幼稚園に入園していた。しかし、私立幼稚

冊、分館五千冊を整備する計画であり、使用できなくなった図書を除籍とあわせ新刊図書を購入していきたい。

園では、費用の面で父母の負担が大きい。都の幼稚園の保護者負担軽減補助金に、市独自で上積みできないか。



春の陽をあびて
みんな
いい顔しているよ

最近問題にな

また、保育園と幼稚園の格差の実態についてどのよう認識しているのか。都より打ち出されている都立保育園の移管についてどう考えているのか。

ついている無認可保育室の市内における実態と、緊急一時保育についで市の考えを聞きたい。

障害者の「完全参加と平等」 年次計画で進めていく

質問 ①わが国の障害者対策の歴史は新しく、昭和二十四年の身体障害者福祉法からスタートしているという社会的、歴史的背景があり、徐々に充実しつつあるものの、行政の立ち後れもあり、その水準は低い。このような状況の中で今年の国障障害者年になり、市ではどのような計画をもっているのか。

②福祉見直し論と相まって物の福祉から心の福祉が強調されているが、一人暮らし老人の給食を実施している市や町の目的を聞くと、健康面とともに老人宅を訪問することにより孤独感を解消し、孤独な死を防止しようとしているという。福生市

た。市の積極的な積み重ねは困難であるが、都に対する増額運動は続けていきたい。

保育園と幼稚園とは、根本的にその目的が異なっているのだから、比較することはできないが、父母負担額については単純平均ではあるが若干の開きがある。

都立保育園の移管については市町村検討委員会において検討

としても一人暮らしの老人に、せめて一日に一度ぐらゐは温かい栄養のバランスがとれた食事をさせてあげられないものだろうか。

③成人病対策の一環としてがん検診などが実施されているが、希望者が多く、受診したくても受診できない現状である。成人病対策についてどう考えているのか。

④当市では精薄者がここ十年間に約二倍になっているが、厚生省の調べでも十年間で、先天性異常や異常分娩による障害者数が三倍にふえている。従来の障害発生予防策や福祉対策が、極めて不十分であったこと

されているが、財政的問題などがあり現在の状態では受け入れは困難である。

市内には無認可保育所が二箇所あり市と利用契約を結んでいる。年度途中の転入、急病等の緊急一時措置として、一般保育所に空きがないときにも利用されており、保育時間等弾力的運営も可能である。

は明白である。先天性代謝異常等の検査の義務化を国に働きかける考えはあるか。

市長 ①国や都においては国際障害者年の目標である「完全参加と平等」の実施は、単年度ではなかなか達成できないというところで十年計画等で行っていくということである。当市でも年次計画をつくり努力していきたい。五十六年度の具体的なものとしては、生活実習訓練室を設置する計画である。

②一人暮らし老人の給食サービスは、日常生活の援助はもとより孤独の解消、地域住民との疎外感の解消等に効果がある。

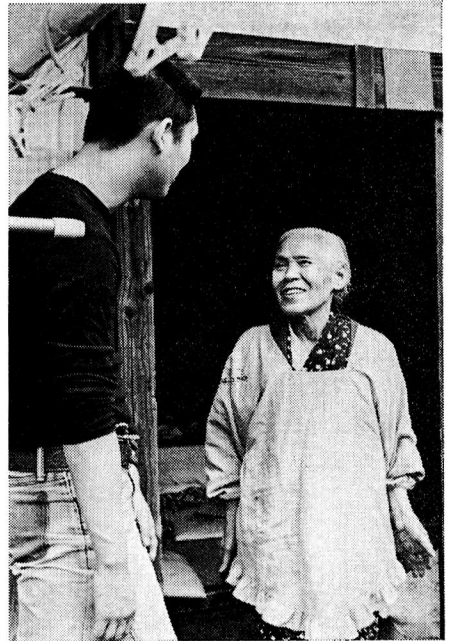
昨年の敬老の日に市内の約五十人の一人暮らし老人に給食サービスを実施した。しかし、給食サービスは季節により衛生面の問題や、配送、調理場等の問題もあるので慎重に対処していきたい



ぬくもりを感じる心の福祉

(上) 一人暮らしの老人の集い
ほほえみ会食会より、

(右) お年寄りとの会話もボラ
ンティア活動のひとつ



質問 障害者の社会生活への参加は戦前、戦後とも厳しい制約と差別を受けてきたが、八〇年代を迎えその道は切り開かれ、新しい条件と機運が国民的運動の中で大きく成長している。しかしながら現実はおおらかな状況におかれている。国際障害者年に当たって、市の具体的な施策について聞きたい。

市長 国際障害者年に当たっては、生活実習訓練室を設置したいと思っている。また、現在行われている心身障害の実態調査の結果を待って関係者とも協議相談し、今後の施策、年次計画等をたて進めていきたいと思っている。

なお、保育ママ制度は即実施は困難と思っており、障害児保育についてもできるだけ入園措置はしているが、保育園は保育に欠ける児童のための施設であり、治療訓練施設ではなく、健常児との混合保育可能な者と限定して運営すべきものと考えている。

保育ママ制度 即実施は難しい

たい。
③成人病は自分自身で予防に努めるとともに、定期的な検診で早期発見に努めることも大切である。都が実施主体であるものも含め胃がん検診等を無料で実施しているが、今後も予防のため充実させたい。
④先天性代謝異常の検診は都が母子保健法に基づいて行っているが、市としてもこの制度の趣旨をPRしていきたい。
福祉部長 ①障害者に対する取り組みは、障害者の意思と要望を第一に尊重していきたい。

また健常者に、障害のある人のことを十分理解してもらうためにも、広報などによりPRに努めていきたい。
②一人暮らし老人の給食は、多摩地区二十六市のうち十二市が実施している。その内容は週一、二回または月二回程度で、調理を地区内の人や老人ホームや病院、ボランティア等にお願ひし、一食当たり四百円から六百円程度で行っている。三月十二日に社協による一人暮らしの老人の方々の「ほほえみ会食会」があるが、その席で希望を

とり、希望者があった場合は社協の方で実施していきたい。
市民部長 ③市では成人病検診の機会に恵まれない在宅住民を対象に検診を実施している。五十五年度では胃がん検診などを約九百人の人が受けている。一人でも多くの人が受診できるようにPRに努めたい。
④先天性代謝異常検診の義務化の国への働きかけは、厚生省段階の問題であるが、都道府県の事業主体をさらに詰め市長会等で協議していきたい。

勤労者互助会制度

すでに八市で実施

質問 小規模事業所に働く勤労者は労働組合もなく、福利厚生面でも恵まれていない現状である。勤労者が安心して働ける環境づくり、従業員の定着化を図る小規模事業所にとっても有利な勤労者互助会の設立を提言したい。二十六市中八市が実施し、大きな成果をあげている。担当部課で内容等調査しておれば、その点についても聞きたい。

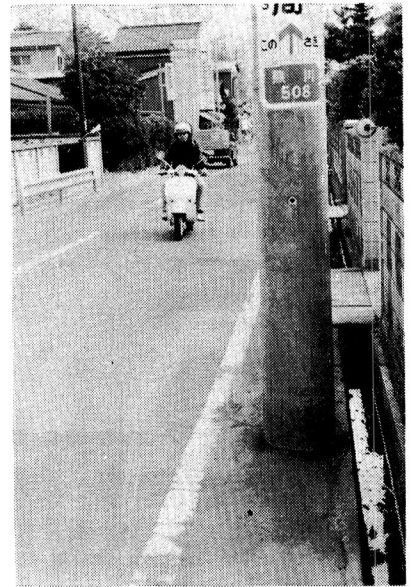
市長 週休二日制の導入により余暇あるいは健康増進等幅広い環境改善を図らねば、優秀な人材の確保は望めないと思っ

ている。勤労者互助会制度については、他市の状況等調査研究し、商工会の意見も聞き検討していきたい。

市民部長 各市の概要は実施している市が八市あり、この中で都市勤労者互助会連絡会をつくり、お互いに協議、検討しているようである。内容については各市とも従業員数が百人以下未組織労働者を対象にしているのが実態である。現在準備中の市も六市あり、今後商工会あるいは内部でも検討していきたいと考えている。



望まれる勤労者互助会制度



検討される 道路の占用料。

道路占用料徴収条例

五十七年度実施の見込み

質問 道路占用料徴収条例の制定については、今までも一般質問、予算審議等で条例制定には前向きな答弁がされてきた。この条例は二十六市中二十五市が制定しており、当市でも積極的に検討していることはわ

かるが、いつ頃を目的に議会に提案するのか聞きたい。

市長 財政問題検討委員会で検討し、議会に諮り、五十七年度から実施できるよう検討していく。

質問 教職員の資質により、わが国の教育が決まってしまうようにも思われる。学校は人間形成の場であり、日本の未来の担い手である子供達の教育の場でもある。学校教育のあり方、義務教育としての小・中学校の教育は、かくあるべきという所信の一端を聞かせてもらいたい。

人間性豊かな 調和のとれた児童の育成

性格を異にする

企業と官庁の会計方式

質問 地方自治法の定めにより決算書には、予算現額、支出済額、不用額が記載されている。不用額という用語に対する

見解と、会計年度独立の原則と出納閉鎖の関係、また、決算認定の時期についての見通しを聞かせてもらいたい。

収入役 会計年度独立の原則により、予算の繰越使用は特別の場合を除き認められていない。予算が繰越使用できないことを明確にするため、不用額と

いう言葉を使っていると思う。また、出納閉鎖時期については、いわゆる企業会計は利潤の追求が目的であり損益及び資産の状況が一目見てわかることが要求されているが、事業の性格上徴収した歳入をいかに市民サービスに充てるかという官公庁の会計方式とは、おのずから違うと思う。

なお、決算認定の時期の問題については、同一年度の予算の執行状況の実質的計算書であり、できるだけ早く議会に提案し認定してもらった上で公表するのが望ましいが、一定の手続を経なければならぬ。現況では従来どおりの提案時期が適当ではないかと考えている。



かわいい 手紙

市議会の議場へ行ったとき、きれいだなあと思いました。ここで市議会をやるのかとやっていると時の感じを思いうかべました。とても詳しく教えてくれたので、とっても勉強になりました。

4年2組 関根 麻子

市役所の中が下水道課、都市計画課、土木課、衛生課、税務課などいろいろと区別してあったので大へんびっくりしました。でも私が一番うれしかったのは議場に入ったことです。議場のいすにすわったら急にえらくなったように感じました。また見学に行きたいです。

4年1組 藤野 博子

2月26日に市役所の見学に来た第一小学校郷土クラブのみなさんから多くの手紙が寄せられました。その中から2人の手紙を紹介します。

私たちはみなさんにもっと市議会のことや市役所のことを知ってもらうためにも、議会の傍聴をおすすめしたいと思います。

麻子ちゃんが議場を見たとき議会の模様を想像したように、議会を傍聴してみることによって、市がどのようになっているのかを感じることができるとは思いませんか。

質問 中学校給食の実施については市民も大きな関心をもっている。その後の経過、現在どう

中学校の給食 早い時期に結論を

質問 中学校給食の実施については市民も大きな関心をもっている。その後の経過、現在どう

教育次長 昨年十月以降八回にわたり慎重に調査、検討を進めており、教育委員会では三月中に結論を出したいと考えているので、今しばらく待ってもらいたい。

教育次長 社会教育団体として

また、福東公園に全天候のテニスコートができたが、体育施設の管理や施設利用の有料化について聞きたい。

市営テニスコート

有料化に踏み切る

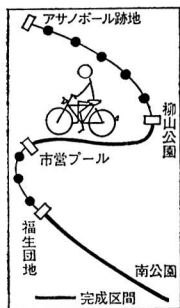
質問 スポーツは日々盛んになり、健康の維持、増進、そして青少年の健全育成に大きな役割を果たしている。当市においても他市に劣らない施設があり、初心者教室等も熱心に行われている。社会教育関係にはそれぞれの団体が熱心に活動しているが、補助金の交付状況はどうなっているのか。

質問 スポーツは日々盛んになり、健康の維持、増進、そして青少年の健全育成に大きな役割を果たしている。当市においても他市に劣らない施設があり、初心者教室等も熱心に行われている。社会教育関係にはそれぞれの団体が熱心に活動しているが、補助金の交付状況はどうなっているのか。

堤のサイクリング道路

二分の一がすでに完成

質問 市民のスポーツへの関心は年ごとに強まり、幼児から高齢者に至る多くの人達がスポーツに親しむ状況である。毎年施設の整備が進められているが、当市にない陸上競技場及びフィールドアスレチックの設置、サイクリング道路の整備についてどのように考えているのか聞きたい。



ては、体育協会、文化連盟、青年団体連絡協議会、PTA連合会、ボーイスカウト福生第一団に補助金を出しているが、体育協会に未加入の団体には、施設の利用面や大会参加等に援助を行っている。

テニスコートの有料化は、管理人を置く関係上受益者負担との考えに立ち、利用者の方に一部負担を願うものである。テニスコートのナイター照明は実施計画でも考えられているが、地域のみならずと相談していきたくない。野球場の備品の倉庫は、南公園には河川敷であるため作れない。備品等については、利用者の便宜を図って検討していき

たい。

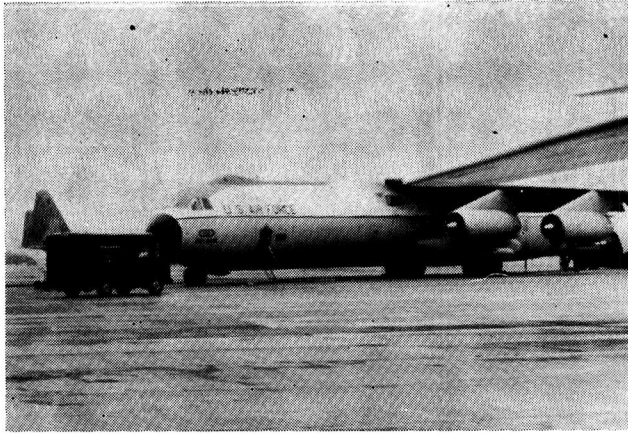
市長 陸上競技場については旧アサノポール跡地を利用し、市民が多目的に使用できるスポーツ公園的なものを建設したいと現在検討中である。また、フィールドアスレチックについては起伏を利用し施設を設置するスポーツであるが、最近では平坦地を利用しているところも多く関係者と相談していき

なお、サイクリング道路については、本年度殿ヶ谷分水を利用し延長四百八十メートルの自転車歩行者専用道路の工事を実施している。また、従来から南公園からアサノポール跡地まで全長五千三百六十メートルの計画があり、現在その約二分の一が完成している。今後実施の可能性の高い五日市線鉄橋下の接続につき、建設省に陳情していき

夜間演習の回避など

口頭で強く申入れ

質問 二月一日から始まっている米韓合同演習は今までにならぬ大訓練になっている。調査ではそれまでの飛行回数に比べ飛行機の離着陸も多く、単に騒音の問題ばかりでなく市民の安全が脅かされていると言ってもよい。この飛行機の騒音、飛行回数、機種などについて聞きたい。また、基地対策について



基地に飛来する飛行機

いるは、現在のところ非常な成果をあげていると判断しており考えはない。
市民部長 本年二月一日から十九日までの飛行回数は八百七十二回、一日平均四十六回。騒音については平均八十八ホーンである。また、二月二十日以降末日までの回数は四百五十一回、一日平均五十回。騒音についても八十五ホ

施策、たとえば基地対策課を設置する考えがあるかどうか。
市長 二月九日に司令官が飛行機の離着陸が一五〇〜二〇〇%増した騒音についても一〇〜一二%ふえるとの話を聞き、市内上空飛行及び夜間の演習は避けるよう口頭で強く申し入れた。

なお、基地対策課の設置については、現在のところ非常な成果をあげていると判断しており考えはない。
市民部長 本年二月一日から十九日までの飛行回数は八百七十二回、一日平均四十六回。騒音については平均八十八ホーンである。また、二月二十日以降末日までの回数は四百五十一回、一日平均五十回。騒音についても八十五ホ

ーン程度である。昨年同期の一日平均が五十八回であるから、昨年の方が平均では上まわっている。
 なお、機種別の回数については自動測定でやっているのだからわかっていない。

駅前からの放置自転車

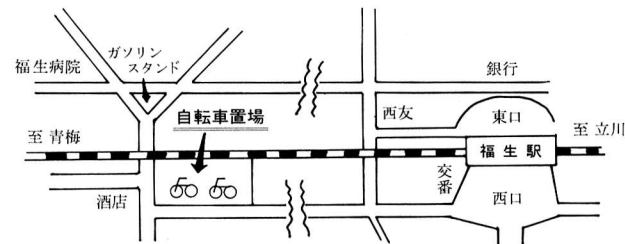
今年から整理を委託

—福生駅西口—

質問 自転車置場の対策は全国的な問題で、各市においてもその対策に苦慮し、条例を制定しようとする市もある。過去に一般質問でも取り上げられているが、市はどのような検討をし、どういった対応をしてきたのか。また、自転車の安全利用の促進及び自転車駐車場の整備に関する法律と合わせて、今後の対応を聞きたい。

市長 駅周辺の放置自転車は全国各地で社会問題となっている。本市においても問題解決のための連絡協議会を開き対応策を検討している。福生駅周辺においては、五十六年度から高齢者事業団に整理誘導を委託することになっている。今後は用地確保が可能であれば自転車置場を設置し、同時に条例も設けて、お互いが交通ルールを守っていただけるよう考えている。先般、法

律化された自転車の駐車場法も十分研究、検討していきたい。



駅前広場の都市計画決定 権利者と協議し進めたい

質問 西口再開発事業が今年度から発足したということであるが、再開発には大勢の方々、種々な要素も含み大変難しいと聞いている。市長の考え方、また昭和五十六年度の当初予算に

調査委託料が計上されている。どのような調査をするのか。駅前広場の都市計画決定、福生駅橋上駅の問題、計画の第一街区には大きな建物もある。果たしてできるのかどうか。再開発はそれが一生懸命なのかその点についても聞きたい。

市長 五十四、五十五年度における商工会並びに地元協議会の活動実績をみて、行政が指導的役割りを果たしていく段階にきていると思っている。

再開発に対する基本的な考え方は基本構想にもあるように福生駅を中心とした市街地及び商業地域の再開発、駅前広場の拡充に基づく以外何ものもない。今後は市街地再開発を前提に地元の指導に当たっていききたい。

当面、意識意向調査の分析を急ぎ、調査結果の問題点の対応を協議していきながら、これまでの活動をより前進させるため駅前広場の検討、I、II、III、IV街区の調査を実施したいと考え、本議会にその調査委託料を計上させていただいた。

建設部長 五十六年度においては、まず駅前広場の計画及び第三街区の事業化(案)の作成、権利交換試案の作成、準備組合結成のための指導育成がある。また第四、第五街区の基本計画及び事業化(案)の作

成、第I、第II街区の基本計画の作成、説明会の開催等も計画している。

駅前広場の都市計画決定は、権利者の同意が得られれば可能であり、建物についても同意が得られれば建替えができる。今後、権利者の方と協議を進めなければならぬと思っている。

なお、橋上駅の問題は再開発していく上で当然考えねばならないことであり、国鉄とも相談しながら計画を練っていきたく。それから再開発は誰がするのかとの質問だが、駅前広場や道路の拡幅等は市の仕事であり、建物その他については当然権利者・地元の方々である。

市民生活のやすらぎ

みどりの保全に努力

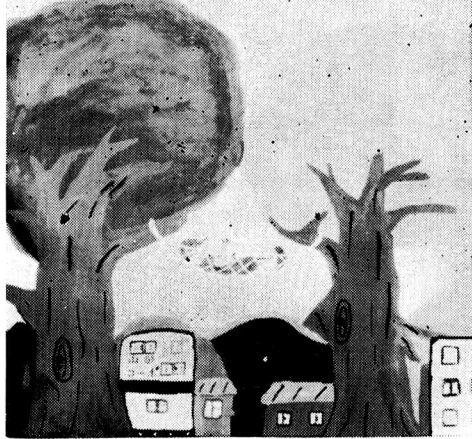
質問 急激な都市化による農地の減少、耕作従事者の高齢化等の悪条件と戦いながら都市農業を継続している農業者のため、当市の農業はいかにあるべきか考え方を聞きたい。

市長 都市化の進展に伴う必然的な傾向とはいえ、農業経営者は難しい局面を迎えている。打開策としては、農業者自身の効率的な都市近郊農業への移行を図る必要があると思われる。農地は空間としても貴重なものであり、都市的土地利用との調

和を図りながら今後は指導にあたっていききたい。緑地についても市民生活を安心して営むためにも、緑地保全、既成市街地の緑化は積極的に進める必要がある。既成市街区域内の農地等は、面積的な問題もあるので検討していきたい。

市民部長 出生記念樹は当初対象者の八割の方が受領されていたが、最近では五割弱四百人程度の希望しかない。極力記念樹配布は受領してもらいたいと思っているが、今後の対策として本数もかなりあり期間もかかるが、市の施設に植樹していく他、一般市民の希望者にも配布していきたい。

緑がたくさん 明るい福生



緑化ポスター 山田浩也君(一小)の作品

会館の利用状況

松林は四八五件

質問 市内五箇所にある地域会館は、地域の人達に大変喜ばれている。この会館の利用状況、会館の中にある公民館部分の社会教育用の施設器具及び条例外の付設器具の使用基準について聞きたい。

教育次長 会館の利用状況はわかざり百三十八件、わかたけ

百四十一件、扶桑四百五十四件、松林四百八十五件、白梅三百九十件である。会館運用における基本的な考え方は、公民館については社会教育法に従い運営し、地域会館については市が福祉の増進と文化の向上を図るために設置したものである。

なお、使用基準については公民館法並びにその運営に関する基準等、社会教育団体に関する基準に従い設けており、印刷機等の貸出しについては貸出さな

わきみち

清岩院

市役所から多摩川に向かってしばらく歩いていくと、玉川上水に沿って清岩院があります。この寺は、応永年間(一三九四〜一四二八年)に建てられたと伝えられ、古くは青蓮院と呼ばれていたそうです。境内には樹木が生い茂り、庭園も手入れがよく行き届いて整っており、「古刹」の趣が感じられます。しかし、残念なことに、今から二百年程前火災にあったため、古文書は失ってしまい、過去帳も元禄以前のものは残っていないということです。



(弁財天像)

寺の宝物にしているものに、源慶作の弁財天の木像があります。これは徳川十一代家斉將軍から賜ったもので、寺内の弁天堂に安置されています。その他榎地藏尊、庚申塔を初め多くの石仏・供養塔などがあり、中には都下でも珍しい石仏も含まれているそうです。

散歩がてら、一度訪れてみてはいかがですか……。

●意見書●

本会期中に可決された意見書はそれぞれの関係機関に送付されました。

■自家発電電気設置で

活線事故を防げ

電気災害防止に関する意見書

わが国の社会、経済の安定成長を進めるためには、電力安定供給は不可欠の条件である。

しかるに電力供給作業に携わる技術者の安全確保については、設備、工具、防護具の改善など災害防止に努力を払っているところであるが、依然として死傷災害事故が後を断たないことは誠に遺憾である。

このことは電力の供給信頼度が大幅に向上し、その結果「電気は停らないものである」との意識が社会的に一般化し、作業停電について、使用者の理解がなかなか得られず、やむなく活線、もしくは活線近接での作業を余儀なくされることが主な原因である。

よって政府において、これら技術者の生命と、その家族の生活を守る見地から、次の事項について強く要望する。

一、短時間の停電により比較的影響が大きいとみられる事務所には、自家発電機の設置を法的に義務づけること。

二、作業停電についての法制化をはかられたい。

第1回臨時会 1月27日

今年初めての臨時会が1月27日に開かれました。

一般会計補正予算のほか、3特別会計補正予算と、第一小学校講堂の防音改築工事請負契約(約1億4,000万円)が決まりました。

また1月末に任期満了となる収入役の人事も決まりました。

一収入役決まる一

第1回臨時会に収入役の選任の議案が市長より出され、全員一致で新たに高水求氏を収入役に選任することに同意しました。

同氏は、土木課長、税務課長などを歴任。

小売店の生活脅かす 大型店の集中出店

大型店等の新規出店と営業活動の規制強化に関する意見書

近年中小小売業を取り巻く経営環境は、大型店等の進出及び消費需要の停滞等によってますます厳しさを増しております。

特に多摩地域における大型店の集中出店により、地域の流通経済を支えてきた中小小売業者の生活基盤をも脅かされ、転廃業を余儀なくされている現状にあります。

このような状況下では、経営基盤の弱い弱小中小小売業者にとって、経営力に圧倒的な優位性をもった大型店の無秩序かつ過度の進出による影響は、個々の経営努力では対応もできず、今や大きな社会問題となっているといっても過言ではございません。

よって、政府において次の事項について法律改正するよう強く要望する。

一、大型店等の新規出店及びその営業活動を許可制とし、規制を強化すること。

二、都道府県知事の権限を拡大強化すること。

せいがん ちんじょう



採 択

○請願第一号 大型店等の新規出店と営業活動の規制強化に関する請願書
志茂一二〇
山下光一氏
—昭56・3・13提出—

不 採 択

○陳情第二号 登録民間日雇労働者の雇用促進に関する陳情書
立川市砂川町四四三—三五
丸山鉄蔵氏
—昭55・3・25提出—

○陳情第六号 失業対策事業の改善と公的就业事業に関する陳情書
熊川八三〇
西村秀吉氏
—昭55・9・11提出—

継 続

○請願第四号 老人医療制度の後退反対、現行制度の改善要求

に関する請願書
福生二二二七
岩本寅次氏 他五人
—昭55・9・11提出—

○陳情第一号 市街化区域農地の宅地なみ課税撤廃に関する陳情書
福生四一九
村野 弘氏 他二人
—昭56・3・13提出—

○陳情第一号 国鉄運賃値上げ反対、総合交通政策の確立に関する陳情書
八王子市旭町一—一
石野 昇氏 他一人
—昭55・3・10提出—

○陳情第四号 行政区域変更に関する陳情書
秋川市草花五の五
堀 辰雄氏 他一人
—昭55・6・20提出—

一あ と が き

・冬と夏の間を置きまして、だから春は少しだけ中途半端なのです。
・この頃は何となく心楽しくて、知らないうちに、だれかを好きになつたりします。花は咲き、鳥は巣づくりをはじめ、そして人も恋をします。
・そんな春といっしょに市議会だよりをあなたにとどけます。